

## 特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の確認に伴う注意喚起について

令和8年7月1日、川崎市市内において、特定外来生物である「クビアカツヤカミキリ」が確認されました。

本種はサクラやウメ、ハナモモなどの樹木に産卵し、幼虫が木の中を食い荒らすことで樹木を枯死させる恐れがあります。

人体に直接危害を与えることはありませんが、樹木の被害を防ぐため、周辺の樹木や庭木に異常がないかご確認をお願いいたします。

### 1. クビアカツヤカミキリの特徴と被害

・成虫の体長は2から4センチメートルで、全体は青みを帯びた黒色で光沢があり、胸部の背中側が赤いのが特徴です。(成虫の発生時期:6月～8月頃)



クビアカツヤカミキリのオス成虫

・幼虫が樹木の中を食い荒らすと、幹や根本に「フラス」と呼ばれる、糞と木くずが混ざった茶色い粉状の排出物が見られます。これが発生の重要なサインです。



クビアカツヤカミキリの幼虫



クビアカツヤカミキリのフラス

## 2. 発見した際の対応

- ・成虫を発見した場合は、その場で踏みつぶすなどして駆除にご協力ください。
- ・本種は特定外来生物に指定されており、生きたままの移動や飼育は法律で禁止されています。違反した場合には罰則が設けられていますので、ご注意ください。
- ・フラスや成虫を発見した際は、川崎市環境局総務部企画課(電話:044-200-3720)へご連絡ください。

【写真提供:埼玉県環境科学国際センター】

[https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka\\_freeimage.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka_freeimage.html)

[川崎市：【報道発表資料】川崎市内で特定外来生物であるクビアカツヤカミキリを初めて確認しました](#)